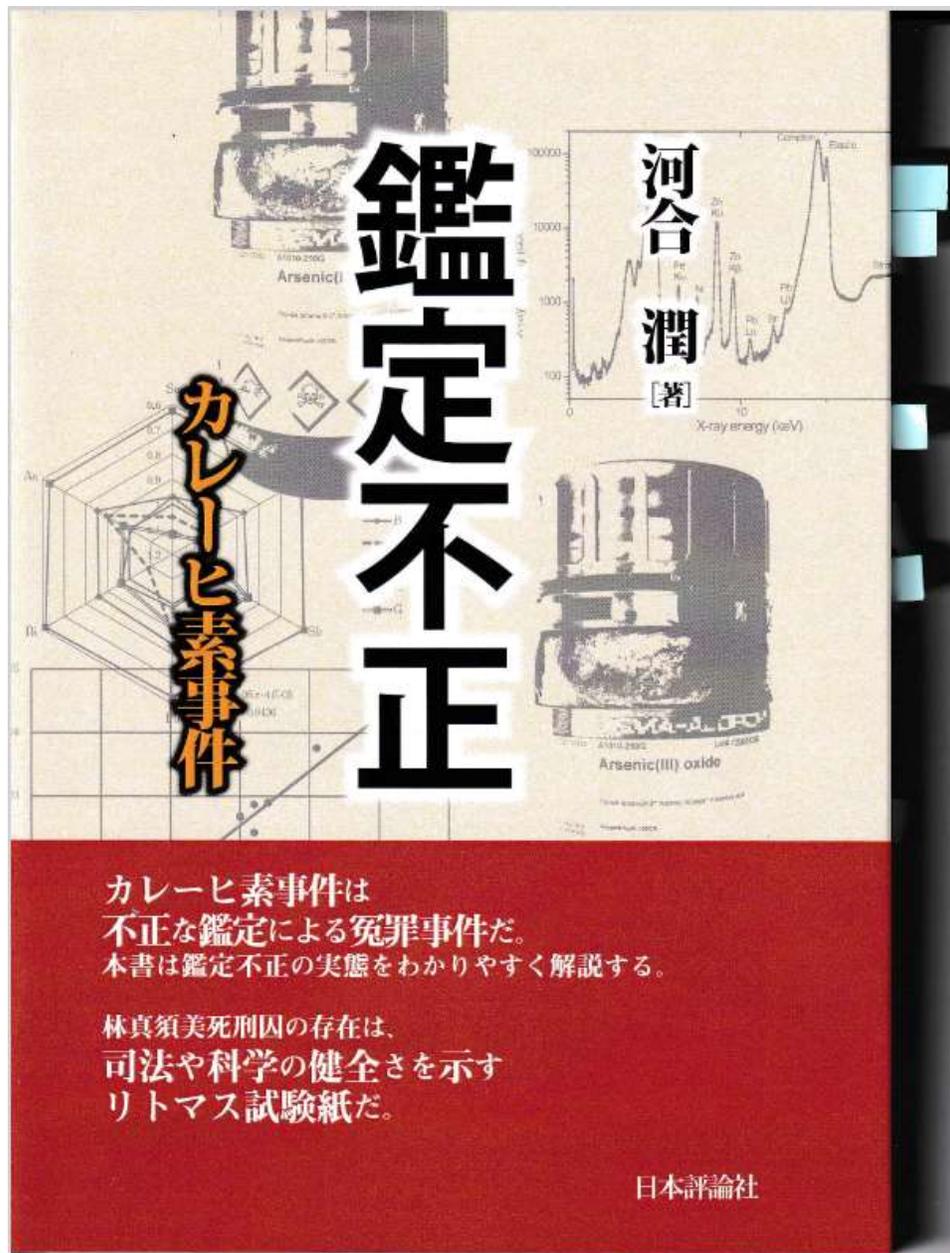


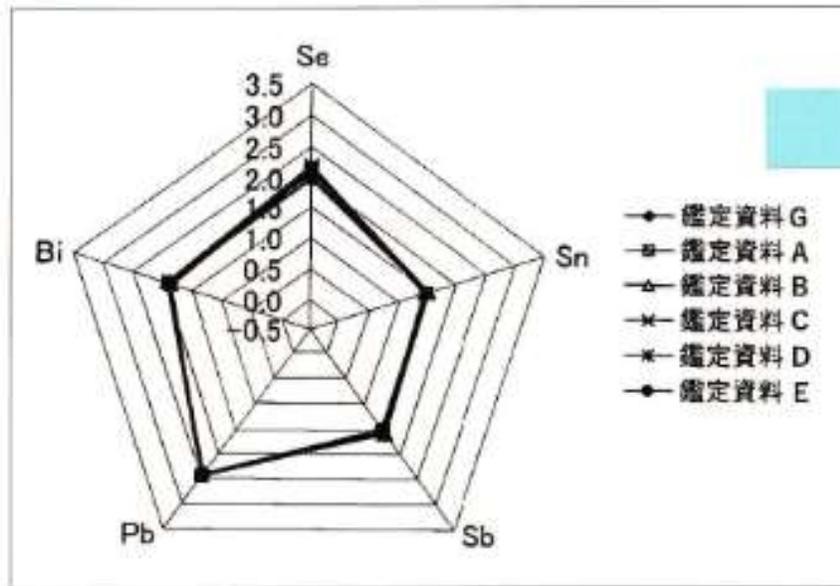
「鑑定不正」 河合 潤 = 著 日本評論社 = 刊 2021/8



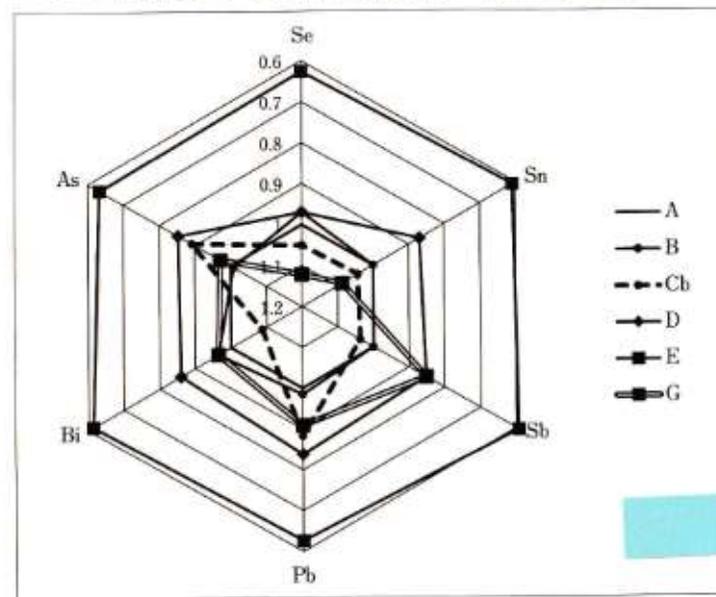
和歌山カレーヒ素事件(1998)の鑑定不正を主張する本

林真須美家にあったヒ素と事件現場で発見されたヒ素が同一由来であったとする科警研の鑑定が不正であると立証している

図表7. 科警研鑑定書検甲 1168 に掲載された五角形レーダーチャート.



図表11. 検甲 1168 科警研鑑定書の数値を六角形のレーダーチャートにプロットしたもの (Cbは重記載缶Cの訂正前の数値).



図表5. 科警研丸茂鑑定書鑑定結果.

亜ヒ酸	Se(ppm)	Sn(ppm)	Sb(ppm)	Pb(ppm)	Bi(ppm)	As(%)
A	99±19	23±3	27±1	198±4	57±6	76.95±3.37
B	96±24	23±2	27±1	195±3	55±3.2	77.57±4.03
Cb	104±13	24±6	28±7	175±8	62±20	68.60±2.20
Ca	94±19	22±2	25±1	167±2	53±2	67.54±1.26
D	96±2	20±2	23±2	166±3	49±1	65.65±1.62
E	62±7	14±2	16±2	124±5	35±2	48.73±0.82
G	111	25	23	180	55	74.78

第35回公判で科警研鈴木真一技官の証人尋問調査(2000年7月14日) pp.43-44においてCの濃度が訂正された。Cb:訂正する前のC(重記載缶)の濃度, Ca:訂正後の濃度.

鑑定資料A~E: 林真須美家にあったヒ素
 鑑定資料G: 事件現場にあったヒ素

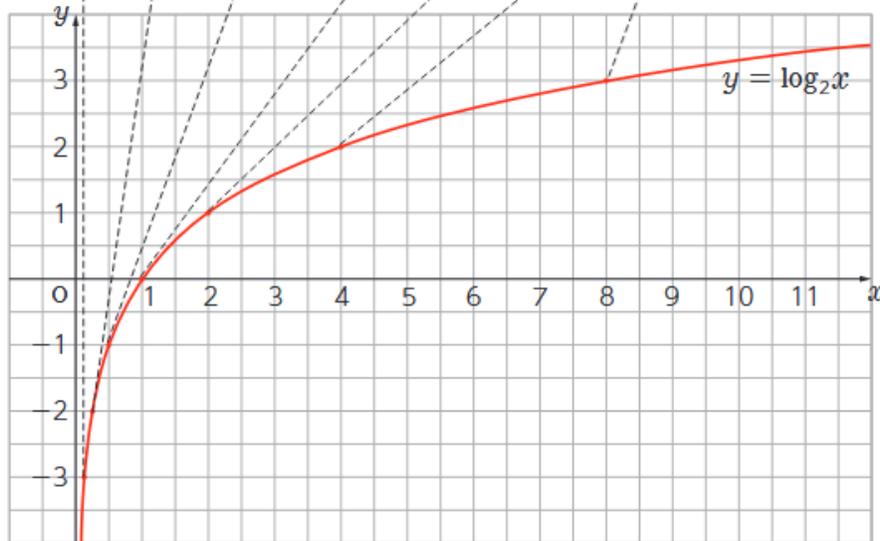
【科警研鑑定(図表7)】

不純物微量元素濃度を**100万倍して対数で表示**

【河合意見書(図表11)】

Aの不純物微量元素濃度を1としてB~GのAに対する比を表示

x	...	$\frac{1}{8}$	$\frac{1}{4}$	$\frac{1}{2}$	1	2	4	8	...
$y = \log_2 x$...	-3	-2	-1	0	1	2	3	...



対数関数 $y = \log(x)$ は元の値 x が大きければ大きいほど傾きが小さくなる。

100万倍して対数をとれば x の偏差を意図的に小さく見せることができる。

例えば、コンビニ強盗事件で防犯カメラには身長170cmの犯人が映っていて、捕まえた容疑者が身長150cmであっても、**100万倍して対数をとると**

$$170\text{cm} \rightarrow \log(170 \times 1000000) = 8.23044892138\dots$$

$$150\text{cm} \rightarrow \log(150 \times 1000000) = 8.17609125906\dots$$

と0.66%の誤差となり、同一人物と鑑定できる。

このトリックは分析化学の話ではなく、高校数学IIレベルの話である。

林真須美死刑囚の再審原告団の弁護士ですら、河合氏(京都大学大学院工学研究科教授)に指摘されるまでこのトリックに気づかなかった。

「専門家バイアス」

和歌山地裁、大阪高裁、最高裁の裁判官たちはこのトリックに気づいていたのに、あえて検察よりの死刑判決を書いた疑いがある。

これで死刑になるのなら日本も北朝鮮と変わらない。

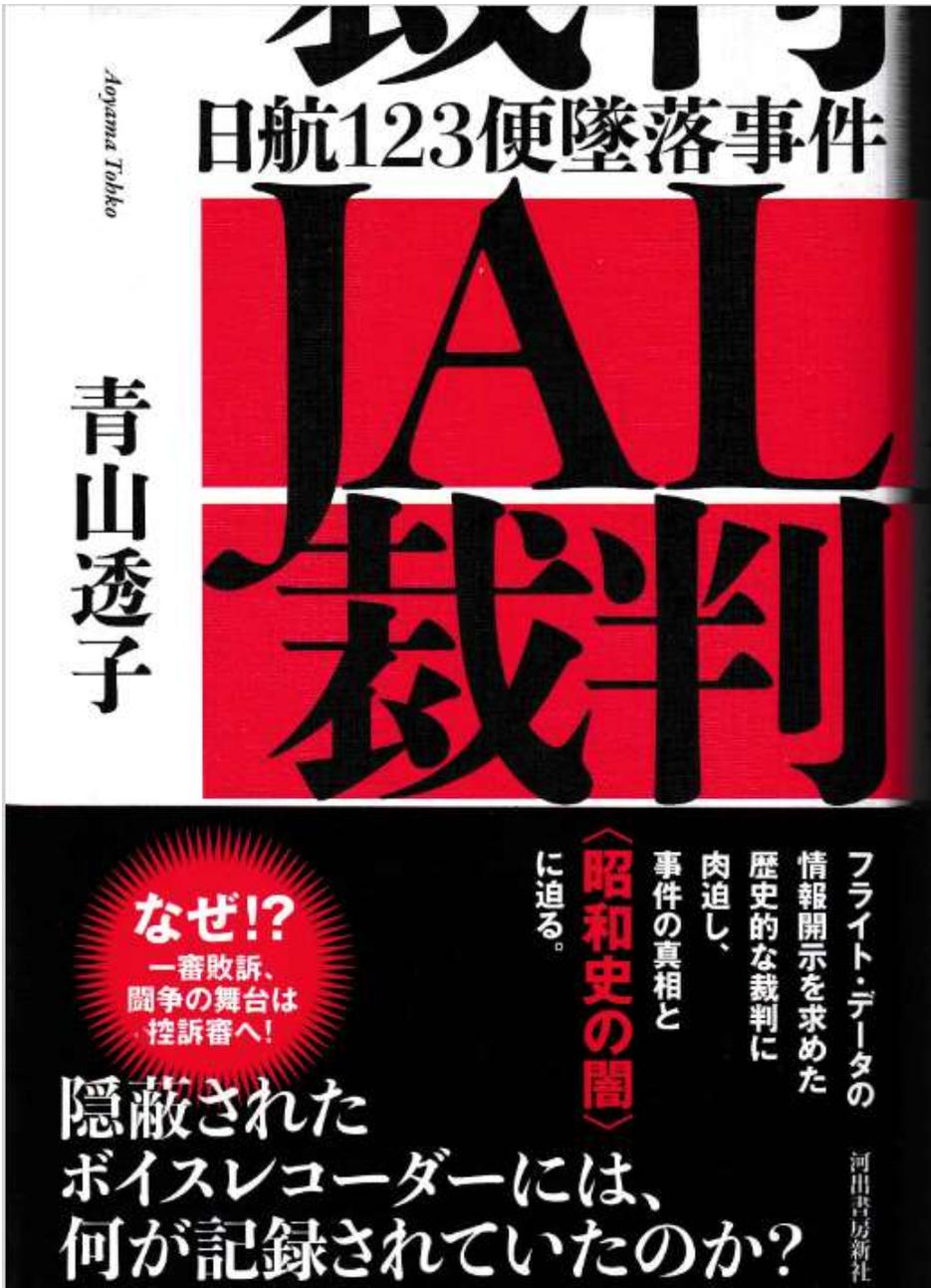
「官僚主義」(官は無謬である)

「JAL裁判」 青山 透子 = 著 河出書房新社 = 刊 2022/11

日航123便墜落事件(1985)のボイスレコーダー開示裁判記録

- ・ボイスレコーダー開示裁判原告へのJALの嫌がらせ
- ・東京地裁裁判官の不自然な交代
- ・被告(JAL)側代理人が判決前に結論を知っていたかのようなふるまい

今後JALには絶対にのらない



参考：映画「Mommy」2024 (<https://mommy-movie.jp/>)



M o m m y

マミー



8月3日(土)

[東京] シアター・イメージフォーラム

ほか全国順次公開

監督：二村真弘

プロデューサー：石川朋子 植山英美 (ARTicle Films)

撮影：高野大树 佐藤洋祐 オンライン編集：池田聡

整音：富永憲一 音響効果：増子彰

音楽：関島種彦 工藤遙 製作：digTV 配給：東風

2024年 | 119分 | DCP | 日本 | ドキュメンタリー (C) 2024digTV

お問合せ：info@tongpoo-films.jp



X ポスト

シェアする 2,351

LINEで送る